

## オーディオ実験室収載

### STAGE+を楽しむ(4)(HP 収載)

—ヒラリー・ハーンのバッハとモーツアルト—

#### 1. 始めに

前報(3)に引き続き、STAGE+の試聴を実施します。

#### 2. 試聴音源

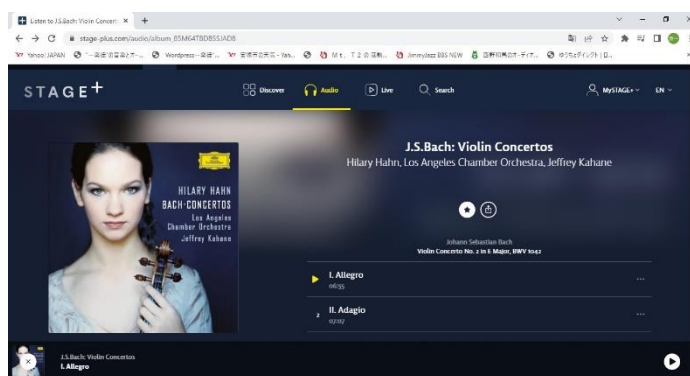
今回は、ヒラリー・ハーンのバッハとモーツアルトの演奏を選びました。

試聴音源は、前報(2)の検索手順で下記を選定しました。

バッハ ヴァイオリン協奏曲 2 番

ヒラリー・ハーン (ヴァイオリン)

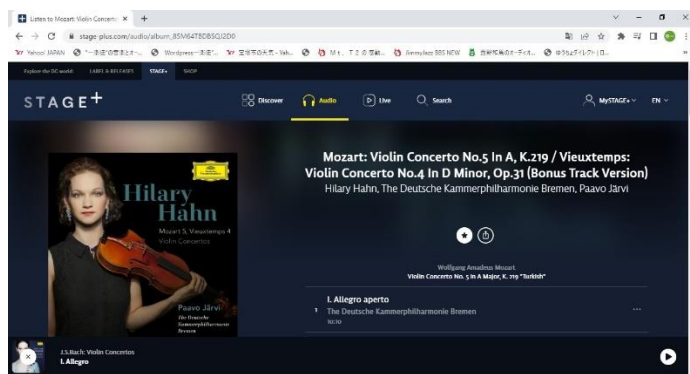
ジェフリー・カーン指揮ロスアンジェルス室内オーケストラ



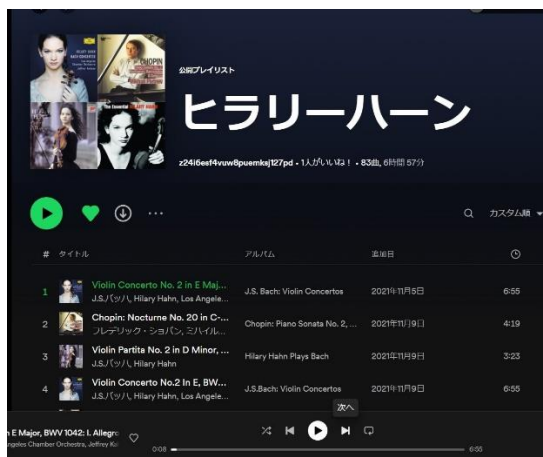
モーツアルト ヴァイオリン協奏曲 5 番

ヒラリー・ハーン (ヴァイオリン)

パーボ・ヤルヴィ指揮ドイツ室内フィルハーモニー・ブレーメン



さらに Spotify でも同じ曲を選んで聴き比べてみました。



### 3. 試聴の経過

STAGE+と Spotify は、ともに PC 以外にも、Sonica DAC に Crystal Ep、スイッチングハブに自作の仮想アースを加えていますので、それらの効果で、これまでとは違った音質になっています。

しかしながら、バッハのヴァイオリン協奏曲 2 番では、STAGE+の方が、ヴァイオリンもバックのアンサンブルの音が滑らかで、通奏低音も明瞭です。

モーツァルトのヴァイオリン協奏曲 5 番でも、STAGE+の方が、ヴァイオリンの透明度が高く、演奏会で聴いたヒラリー・ハーンのヴィヨームの音色により近い感じですし、バックのオーケストラの音の分離もよい印象です。

### 4. まとめ

ヒラリー・ハーンのパフォーマンスでバッハのヴァイオリン協奏曲 2 番とモーツァルトのヴァイオリン協奏曲 5 番について STAGE+と Spotify の再生の聴き比べをしました。ともに仮想アースの効果により、ヒラリー・ハーンのパフォーマンスの音色の再現の向上を認めましたが、ドイツグラモフォンの元音源の STAGE+に一日の長を認めました。

以上